

グローバル・インベストメント・
マネジャー調査

2025年12月

図表1：フランクリン・テンプルトン グローバル投資運用調査に基づく2026年の見通し

全資産クラスでクオリティを重視

経済成長は緩やかに加速

- 世界経済の成長率は市場コンセンサスをやや上回る見込み。
- コアPCEは約2.5～3%に達し、中央銀行の目標をやや上回る可能性。
- 米国の失業率は上昇するものの比較的低下水準を維持し、2026年末には4.50～4.75%程度。
- 米ドルはレンジ内で推移し、2026年末時点ではほぼ変わらない見込み。
- 2026年の景気後退はないと予想。

2026年末の米国株(S&P 500)は7,000～7,400

- 企業利益は8～13%成長（市場コンセンサスは14.2%）。

注目分野

- 米国大型株を重視。引き続き物色対象が広がると予想。新興国市場、日本、米国小型株に強気。
- 注目セクターは、資本財、ヘルスケア、テクノロジー。
- 注目ファクターは、フリーキャッシュフロー利回り、投下資本利益率、株主資本利益率。

リスク

- 地政学リスク、利益予想の下振れ、政策誤り。

2026年、社債と短期デュレーションは強固なファンダメンタルズと金利低下から恩恵

注目分野

- ハイイールド債は魅力的。デフォルト率は2026年を通じて低水準を維持する見込み。ただし、スプレッドはやや拡大する可能性があるものの、低金利リスクと高オールイン利回りを有するセクターは依然として魅力的。
- 金利は年間を通じて緩やかかつ段階的に低下するため、特に2026年前半において短期デュレーションの債券が選好される見込み。
- ファンダメンタルズは堅調、懸念されていた記録的な供給水準による需給面の課題も緩和しつつあり、バリュエーションの支え要因となっています。こうした環境下、地方債は引き続き高い信用力と分散効果も期待できる投資対象として魅力的。税制優遇を考慮した利回りの高さも投資妙味を高める。

リスク

- 地政学リスク、中央銀行の政策誤り。

2026年のGDP成長率は緩やかに加速

2.5% vs. 2.3%^{FRB} / 1.9%
ブルームバーグ
コンセンサス

インフレは上昇、金利は安定

2.5-3% vs. 2.5%^{FRB} / 2.8%
ブルームバーグ
コンセンサス

インフレ率はFRBの目標値を上回る可能性が高い

3.25-3.5% | 4-4.25% | 2 利下げ
回数 VS. 3 回
FRB / 先物市場

政策金利予測

米国10年国債
利回り予測2 回
FRB3 回
先物市場

社債および短期デュレーションがキャッシュをアウトパフォーム

投資適格債およびハイイールド債のスプレッドは緩やかに拡大するものの、タイトな水準を維持し、デフォルト率は低水準にとどまる見込み

選好する
セクター

ハイイールド債

地方債

2026年末のS&P 500は上昇を予想

S&P 500目標値

利益成長

7000-7400 | 8-13% vs. 14.2%
ファクトセット
コンセンサス選好する
セクター

大型株

新興国株

小型株

出所：フランクリン・テンプルトン・グローバル・インベストメント・マネジャー調査による2026年の予想（2025年11月現在）。調査方法については当レポートの末尾に記載されています。

調査結果は2025年11月現在、市場データは2025年11月30日現在、FRBのデータは2025年12月10日現在。

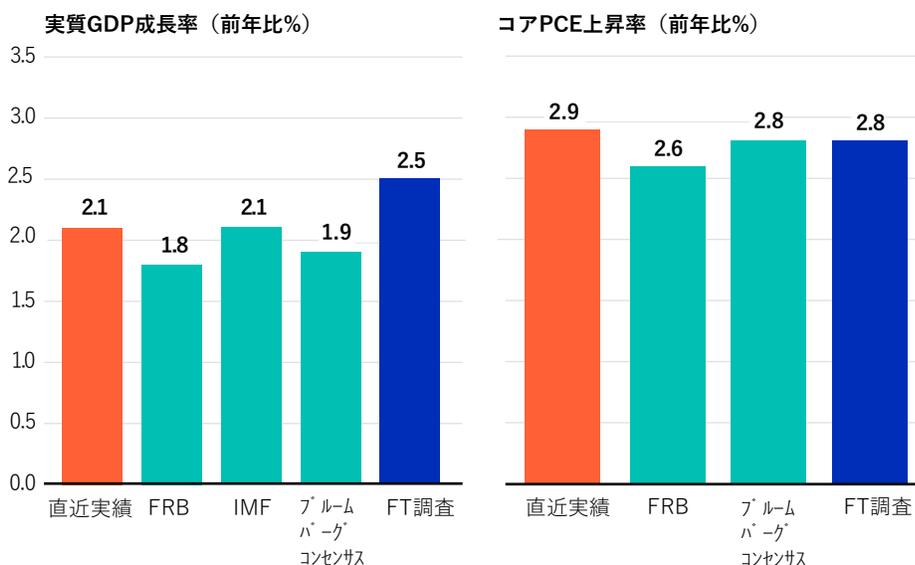
マクロ経済

- 米国の実質GDP成長率は 2.5% と予想。これは、IMF予測の 2.1%、ブルームバーグの市場コンセンサスの 1.9%、FRB予測の 1.8%を上回る水準です。
- 欧州の実質GDP成長率は 1.5% と予想。これは、IMF予測およびブルームバーグの市場コンセンサスの 1.1% を上回る水準です。
- 中国の実質GDP成長率は 4.5% と予想。これは、IMF予測の 4.2%、ブルームバーグの市場コンセンサスの 4.4% をわずかに上回る水準です。
- インフレ率（米国コア個人消費支出〈PCE〉ベース）は、2026年末に 2.5%~3% の範囲で推移する見込み。これは、現在の 2.9%、ブルームバーグの市場コンセンサスの 2.8%、FRBの推計値 2.6% と概ね一致しています。
- 米国の失業率は年末時点で約4.5% と予想され、ブルームバーグの市場コンセンサスの 4.4% をわずかに上回る水準です。
- ミドルは、2026年末時点で現在の水準からほぼ変化しない水準を見込んでいます。

図表2：2026年の予測

出所：米商務省経済分析局（BEA）、連邦準備制度理事会、IMF、ブルームバーグ経済予測、Macrobond。フランクリン・テンプレトン・インスティテュートによる分析。実質GDP成長率の現行値は2025年第2四半期時点、コアPCEの現行値は2025年8月時点のものです。フランクリン・テンプレトンの予測は、当社の運用マネジャーへの調査結果に基づく2026年の中央値推計です。FRBの2026年予測は2025年9月17日時点、IMFのGDP推計は2025年10月発行の「世界経済見通し」に基づきます。ブルームバーグ市場コンセンサスの2026年予測は、ブルームバーグが実施した最新の月次・四半期調査および各銀行から提出された予測（中央値）に基づき、2025年11月30日時点のものです。

いかなる予測、予想、推計も実現が保証されるものではありません

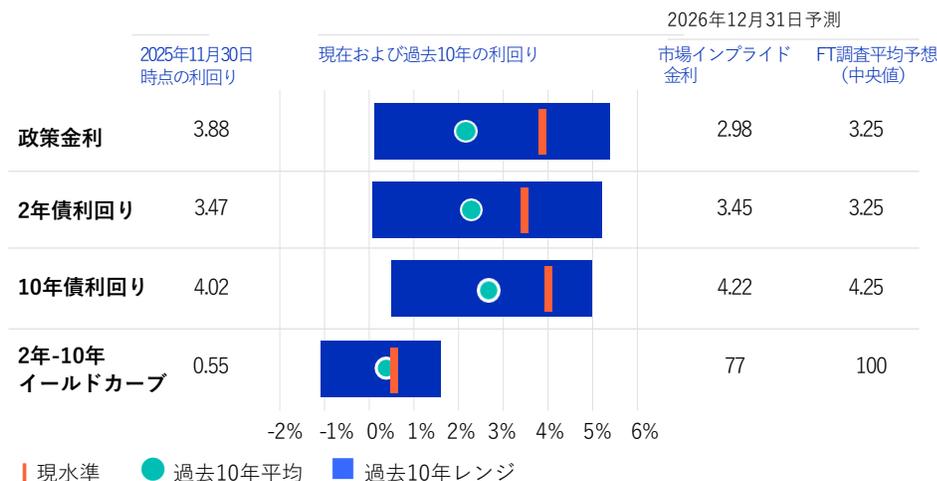


図表3: 米国金利: 現水準と今後の見通し

2025年11月30日現在

出所：ブルームバーグ、Macrobond。フランクリン・テンプレトン・インスティテュートによる分析。提示されたデータはすべてパーセンテージで表示されていますが、2年物と10年物のイールドカーブはパーセンテージポイントで示されています。10年間のレンジおよび平均値は日次データに基づいて算出されています。市場が織り込む金利は米国債アクティブカーブから取得し、政策金利についてはFF（フェデラルファンド）金利先物に基づく予想値を使用しています。2027年1月限のFF金利先物を採用しています。

いかなる予測、予想、推計も実現が保証されるものではありません



株式

- S&P500指数の2026年末の予想レンジは 7,000~7,400。
- 米国企業の利益成長率の予想レンジは 8%~13%。米国の実質GDP成長率が2.5%と堅調なことも一因となっています。
- 企業の利益成長はより幅広い銘柄に波及すると予想されます。大型株を選好し、バリュー株・グロース株がともにプラスのリターンを生むと予想されます。
- 新興国、日本、米国小型株についても強気の見通しを維持。
- ファクターでは、フリーキャッシュフロー利回り、投下資本利益率 (ROIC)、株主資本利益率 (ROE) を重視します。
- アウトパフォームが期待されるセクターは、資本財、ヘルスケア、テクノロジー、公益事業です。
- 主な懸念材料は、地政学リスク、予想を下回る企業利益、FRBの政策運営の誤りです。

**図表4：S&P 500指数：
年末目標株価**

2025年11月30日現在

出所：S&Pグローバル、Macrobond、フランクリン・テンプレトン・インスティテュートによる分析。インデックスは運用されておらず、インデックスに直接投資することはできません。インデックスには、手数料、経費、販売手数料は含まれていません。データプロバイダーに関する重要な通知と規約については、www.franklintempletondatasources.comをご覧ください。

いかなる予測、予想、推計も実現が保証されるものではありません

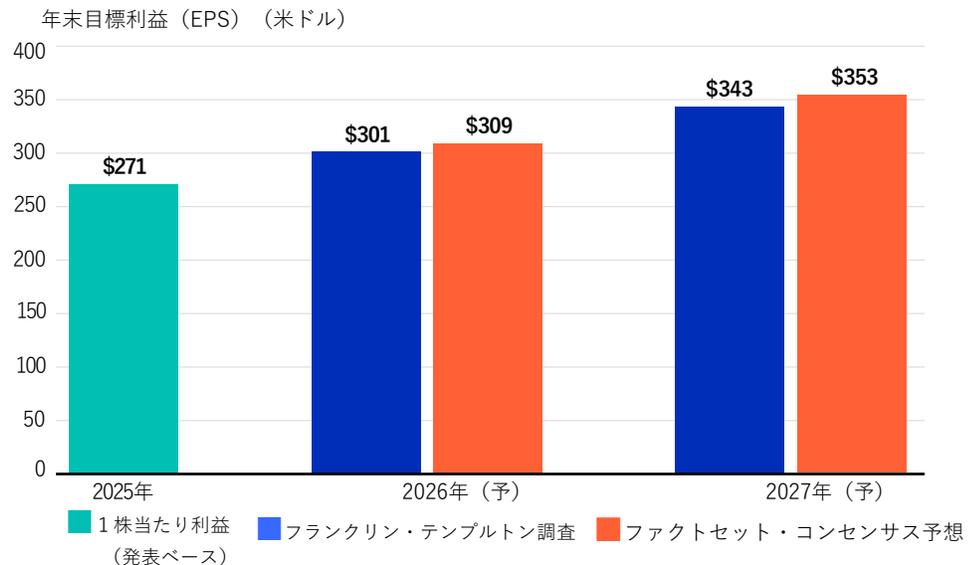


**図表5: S&P 500指数:
年末目標利益 (EPS)**

2025年4月30日現在

出所：フランクリン・テンプレトン・インスティテュート、ファクトセット、米連邦準備制度理事会。インデックスは運用されておらず、インデックスに直接投資することはできません。インデックスには手数料、経費、販売手数料は含まれていません。データプロバイダーに関する重要な通知と規約については、www.franklintempletondatasources.comをご覧ください。

いかなる予測、予想、推計も実現が保証されるものではありません



債券

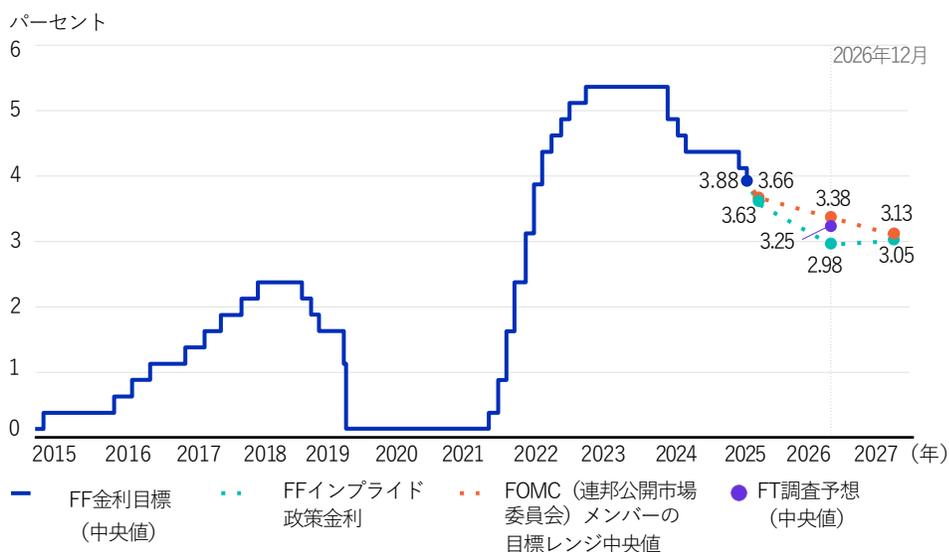
- インフレおよび雇用関連の経済指標が利下げ継続の妥当性を示す限り、FRBは、2026年を通じて緩やかなペースで利下げサイクルを継続すると予想します。
- 米国投資適格債のспレッドは、現在の80ベースポイント (bps) から2026年末には85bpsへとわずかに拡大する見込みです。これは過去10年間の平均спレッドの約117bpsを下回っており、クレジットクオリティが高水準を維持していることから、全体として金融システム内のストレスが極めて小さいと考えられます。
- 米国ハイイールド債のспレッドは、現在の269bpsから2026年末には325bpsへと拡大する見込み。一方、過去10年間の平均спレッド約399bpsと比較すると依然として低水準です。足元のデフォルト率は約1.8%と過去平均の3.3%を下回っており、2026年も1.5%と低水準を維持する見込みです。
- 新興国債務のспレッドは、現在の188bpsから拡大し、2026年末には225bpsに達する見込みです。過去10年間の平均спレッドは約306bpsです。
- 米国地方債は引き続き高い信用力と分散効果が期待できる投資対象であり、2026年のトータルリターンはおよそ3.75%になると予想されます。
- 30年固定金利の適格住宅ローンは現在の6.2%から、2026年末には約5.75%に低下する見込みです。
- 当社の主な懸念材料は、地政学的要因、FRBおよびその他主要中央銀行の政策に集中しています。

図表6：FF金利：現水準と今後の見通し

2025年11月30日現在

出所：ブルームバーグ、米連邦準備制度理事会、Macrobond、フランクリン・テンプレトン・インスティテュートによる分析。グラフは過去10年間のFF金利とFOMC/市場/FT調査予想の中央値を示しています。FOMCの数値はメンバーの予想中央値を示しています。市場インプライド政策金利はFF金利先物から算出しています。

いかなる予測、予想、推計も実現が保証されるものではありません。



図表7：信用спレッド：現水準と今後の見通し

2025年11月30日現在

出所：ブルームバーグ、Macrobond、フランクリン・テンプレトン・インスティテュートによる分析。記載されたすべてのデータの単位はベースポイントです。過去10年間のレンジと平均値は日次データから算出しています。この分析はオプション調整後спレッドに基づいています。オプション調整後спレッドは、債券利回りよりリスクフリーレートとのспレッドから算出され、組み込まれたオプションを考慮して調整されます。リスクフリーレートには国債利回りを使用しています。米国エージェンシーMBS = ブルームバーグ米国MBS指数、米国投資適格社債 = ブルームバーグ米国社債指数、米国投資適格社債1-3年 = ブルームバーグ米国社債1-3年指数、ユーロ投資適格社債 = ブルームバーグ・ユーロ総合社債指数、米国ハイイールド債 = ブルームバーグ米国ハイイールド社債指数、ユーロ・ハイイールド社債 = ブルームバーグ汎欧州ハイイールド社債指数、新興国債券 (米ドル建て) = ブルームバーグ米ドル建て新興国総合指数。インデックスは運用されておらず、直接投資することはできません。インデックスには、手数料、経費、販売手数料は含まれていません。データプロバイダーに関する重要な通知と規約については、

www.franklintempletondatasources.com をご覧ください。いかなる予測、予想、推計も実現が保証されるものではありません。



プライベート市場

- プライベート・エクイティ・セカンダリー市場** — エグジジットは増加傾向にある一方、バリュエーションは低下していますが、同市場は魅力的なファンダメンタルズと構造的な優位性を備えているため、当社は引き続きセカンダリーを重視しています。特に、分配金が過去水準を大きく下回っている状況を踏まえると、今後数年間にわたり、機関投資家の流動性ニーズは継続すると見込まれます。セカンダリー運用マネジャーは成熟した資産を取得することで、Jカーブを短縮し、資本回収までの期間を短縮することができます。また、ビンテージ、GP（ジェネラル・パートナー）、地域、業種、ステージ（ベンチャーキャピタル、グロース、バイアウト）にわたる幅広い分散投資の実現が可能です。
- 不動産** — バリュエーションは2021年のピークから調整が進み、案件によっては再調達コストを下回る水準まで低下しています。オフィスは引き続き課題を抱えているものの、マルチファミリー、産業用施設、必需品小売などのセクターでは、依然として魅力的な投資機会が存在します。
- インフラ** — インフラは新たな投資機会を提供すると考えています。一般的にインフラは道路、トンネル、橋といった従来型の資産が想起されがちですが、当社はデジタルインフラ、脱炭素化、脱グローバル化、人口動態といった構造的テーマにおいて特に魅力的な投資機会が存在すると見ています。
- プライベート・クレジット** — ダイレクトレンディングに対する懸念が高まる中、当社はアセットベースのファイナンス、特に商業用不動産デットにおいて、より魅力的な投資機会を見出しています。今後数年間にわたり、いわゆる「債務の壁」により大規模なリファイナンス需要が見込まれることから、プライベート・クレジット運用マネジャーは、従来銀行が担っていた資金供給の不足分を補完しつつ、より有利な条件で交渉できる環境にあります。
- 分散投資と運用マネジャーの選別** — 市場の不確実性を乗り越えるためには、分散投資と運用マネジャーの選別は依然として不可欠な戦略です。現在の市場環境では、リターンの上昇が拡大し、セクターのダイナミクスが変化しているため、投資家にとっては、迅速な資本投下が可能で、かつ様々な市場サイクルを通じた運用実績を持つ運用マネジャーとのパートナーシップを優先することが重要と考えています。

図表8：短期および長期リターン

2025年6月30日現在

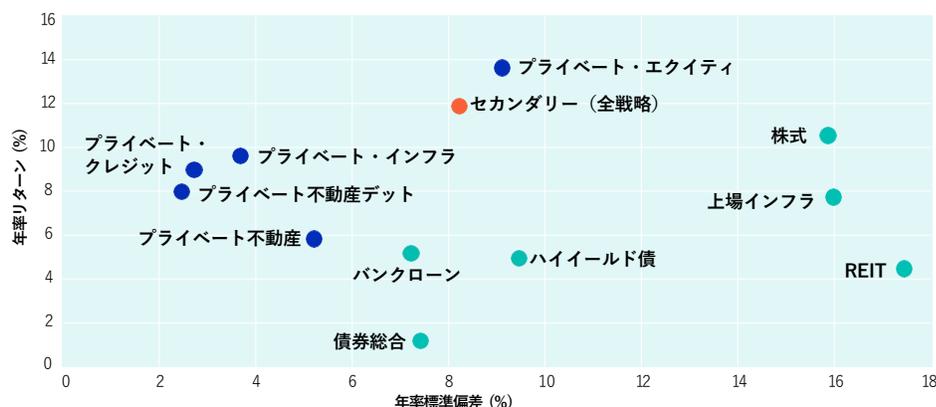
出所：MSCIインデックス、SPDJ、MSCIプライベート・キャピタル・ソリューションズ、Cliffwater、ブルームバーグ、Macrobond、Giliberto-Levy、PitchBook、フランクリン・テンプレトン・インスティテュートによる分析。1年以上のリターンは年率換算されています。インデックスは米ドル建てのトータルリターンです。すべてのリターンは手数料控除後で、四半期ごとに評価されています。使用したインデックスおよび手数料控除後リターンの算出方法は付録に記載されています。インデックスは運用されておらず、直接投資することはできません。過去の運用実績は、将来の結果を示唆または保証するものではありません。重要なデータ提供者の通知および利用条件は、<http://www.franklintempletondatasources.com>

戦略	1年	3年	5年	10年
株式	15.06%	16.26%	12.57%	8.98%
プライベート・エクイティ	10.13%	5.37%	14.91%	13.62%
グローバル・セカンダリー（全戦略）	6.19%	4.42%	15.46%	11.89%
債券	8.45%	2.31%	-1.58%	0.74%
プライベート・クレジット	6.87%	7.38%	7.59%	6.04%
プライベート不動産	0.39%	-3.09%	5.13%	5.89%
プライベート不動産デット	4.27%	5.84%	6.59%	8.01%
上場インフラ	26.00%	10.92%	11.52%	6.20%
プライベート・インフラ	11.70%	9.44%	11.23%	9.71%

図表9：過去のリスクとリターン

2025年6月30日までの10年間

出所：SPDJ、Giliberto-Levy、MSCIプライベート・キャピタル・ソリューションズ、ブルームバーグ、Cliffwater、FTSE、MSCIインデックス、Morningstar、PitchBook LCD、ICE BofAインデックス、Macrobond、フランクリン・テンプレトン・インスティテュートによる分析。



（注）使用したインデックス：プライベート・インフラ：MSCI Private Capital Solutions-全地域のプライベート・インフラ、上場インフラ：S&Pグローバル・インフラ・トータルリターン・インデックス、プライベート不動産債務：Giliberto-Levyハイイールド不動産債務インデックス、プライベート不動産：MSCI Private Capital Solutionsによる全地域のプライベート不動産ファンド検索結果、プライベート・エクイティ：MSCI Private Capital Solutionsによる全地域のプライベート・エクイティファンド（全カテゴリー）検索結果、プライベート・クレジット：Cliffwaterダイレクトレンディング・インデックス、セカンダリー（全戦略）：MSCI Private Capital Solutionsによるグローバル・セカンダリーの全戦略検索結果、株式：MSCIオールカントリー・ワールド・インデックス、総合債券：Bloombergグローバル総合インデックス（トータルリターン）、REIT：FTSE EPRA/NAREITグローバルREITインデックス、バンクローン：Morningstarグローバル・レバレッジドローン・トータルリターン・インデックス、ハイイールド債：ICE BofAグローバル・ハイイールド・インデックス。インデックスは運用されておらず、直接投資することはできません。また、手数料、諸経費、販売手数料は含まれていません。過去の運用実績は、将来の結果を示唆または保証するものではありません。重要なデータ提供者の通知および利用条件は、<http://www.franklintempletondatasources.com>にてご確認ください。

寄稿者：



スティーブン・ドーバー、CFA
チーフマーケット・ストラテジスト
ヘッド・オブ・フランクリン・
テンブルトン・インスティテュート



クリス・ガリポー
シニアマーケット・
ストラテジスト



リック・ポルシネロ、CIMA®
シニアマーケット・
ストラテジスト



テイラー・トプーシス、CFA
マーケット・ストラテジスト



トニー・ダビドウ、CIMA®
シニア・オルタナティブ・
インベストメント・
ストラテジスト

調査方法

年2回の調査：本調査は、当社の各運用チームの見解を提供することを目的として年2回実施される市場見通しに関する意識調査です。フランクリン・テンブルトン・インスティテュートは、回答の中央値をもとに、今後1年間の見通しについて考察を展開しています。

全資産クラスの運用プロフェッショナルが対象：フランクリン・テンブルトン・グローバル・インベストメント・マネジャー調査には、株式、プライベート・エクイティ、債券、プライベート・デット、不動産、デジタル資産、ヘッジファンド、セカンダリー・プライ

ベート・マーケットなど幅広い資産クラスを代表する、200名を超えるポートフォリオ・マネジャー、リサーチ・ディレクター、最高投資責任者から回答を得ています。

総合的な見解：本調査では、各回答の中央値をとり、総合的な見通しを示しています。調査の質問項目は、マクロ経済、株式、債券に対する見解を問うものが中心となっています

独立した見解：当社の運用チームはそれぞれ独立性を有しており、固有の見解を有しています。本調査は、各チームにとって、最も優れた投資アイデアを導き出すためのたたき台として活用されます。

図表8および図表9の数値の算出手法

資産クラス	インデックス	ネットリターン算出方法
株式	MSCI ACWI トータルリターン・インデックス	四半期リターンから年率1.46%の手数料を控除
債券	ブルームバーグ・グローバル総合トータルリターン・インデックス・バリュエーション（為替ヘッジなし、米ドル建て）	四半期リターンから年率0.43%の手数料を控除
上場インフラ	S&Pグローバル・インフラ・トータルリターン・インデックス	四半期リターンから年率1.46%の手数料を控除
オルタナティブ		
プライベート・エクイティ	MSCIプライベート・キャピタル・ソリューション - プライベート・エクイティ（全地域・全カテゴリー）	手数料控除後のファンド・リターン
プライベート・クレジット	Cliffwaterダイレクト・レンディング・インデックス	四半期リターンから年率1.381%の手数料を控除。さらに、リターンがプラスの場合には、16.669%のキャリード・インタレスト（成功報酬）が課されます。これらの手数料とキャリード・インタレストは、2016年から2025年の間におけるプライベート・クレジット・ファンドの平均値です（出所：PitchBook）。四半期のリターンには、損失解消までキャリード・インタレストは課されません。キャリード・インタレストが発生するハードルレートは年率7%（2025年時点のPitchbookによる調査に基づく）。
プライベート不動産	MSCIプライベート・キャピタル・ソリューションズ - プライベート不動産（全地域）	手数料控除後のファンド・リターン
プライベート不動産デット	Gilberto-Levyハイイールド不動産債務インデックス	ネットリターンはインデックス提供者による算出
プライベートインフラ	MSCIプライベート・キャピタル・ソリューションズ全地域のプライベート・インフラの検索結果	手数料控除後のファンド・リターン
セカンダリー	MSCIプライベート・キャピタル・ソリューションズのセカンダリー市場全戦略におけるグローバル・セカンダリー戦略の検索結果	手数料控除後のファンド・リターン

「Cliffwater」、「Cliffwater Direct Lending Index」および「CDLI」は、Cliffwater LLCの商標です。Cliffwater Direct Lending Index（以下「インデックス」）およびそのパフォーマンスや特性に関するすべての情報（以下「インデックスデータ」）は、Cliffwater LLCが独占的に所有しており、本書ではライセンスに基づき参照されています。Cliffwaterおよびその関連会社は、フランクリン・テンブルトン・カンパニーズLLCやその製品・サービスを後援、推奨、提携、またはその他の形で関与していません。すべてのインデックスデータは情報提供のみを目的としており、「利用可能な状態」で提供され、明示または黙示を問わず、いかなる保証もありません。Cliffwaterおよびその関連会社は、インデックスまたはインデックスデータにおける誤りや欠落、またはインデックスやインデックスデータの使用に起因するいかなる責任も負いません。また、本レポートに記載されたインデックスやインデックスデータに第三者が依拠することはできません。Cliffwaterの明示的な書面による同意なしに、インデックスデータの再配布は認められません。インデックスまたはインデックスデータの参照または使用は、Cliffwaterのウェブサイト（<https://www.cliffwaterdirectlendingindex.com/disclosures>）に随時掲載される追加の通知および免責事項に従います。出所：MSCIインデックス、SPDJ、MSCIプライベート・キャピタル・ソリューションズ、Cliffwater、ブルームバーグ、Macrobond、Gilberto-Levy、PitchBook。フランクリン・テンブルトン・インスティテュートによる分析。インデックスは米ドル建てのトータルリターンです。インデックスは運用されておらず、直接投資することはできません。過去の運用実績は、将来の結果を示唆または保証するものではありません。

リスクについて

すべての投資には、元本割れの可能性を含むリスクが伴います。

債券には、金利リスク、信用リスク、インフレリスク、再投資リスクがあり、投資元本を割り込む可能性があります。金利が上昇すると、債券の価値は下落します。

株式は価格変動の影響を受け、投資元本を割り込む可能性があります。

ハイイールド債券への投資は、デフォルトや元本損失のリスクが高くなります。債券の信用格付けの変更、または債券の発行者、信用保険会社、保証人の信用格付けや財務力の変更は、債券の価値に影響を与える可能性があります。

グローバル投資は、為替変動や社会的、経済的、政治的な不確実性といった特別なリスクの影響を受けるため、ボラティリティが高まる可能性があります。こうしたリスクは新興市場ではより大きくなります。

オルタナティブ投資戦略は大幅な価値の変動にさらされる可能性があります。

非公開企業には、公開企業への投資とは対照的に、企業に関する入手可能な情報の欠如や一般的な流動性の欠如への対応など、特定の課題があり、追加のリスクが伴います。

不動産証券には、不動産価値の下落や、当該セクターに影響を与える経済的または規制上の逆風に対して大きな影響を受けやすくなるなど、特別なリスクが伴います。

地方債は金利動向の影響を受けやすいため、地方債ポートフォリオの利回りと価値は市況によって変動します。債券価格は通常、金利とは逆の方向に動きます。したがって、投資ポートフォリオ内の債券の価格が金利の上昇に合わせて調整されると、ポートフォリオの価値が低下する可能性があります。債券の信用格付け、あるいは債券の発行者、保険会社、保証人の信用格付けや財務状況の変化も、債券の価値に影響を与える可能性があります。

配当金は保証されたものではなく、企業はいつでも減配または無配とするなど変動する可能性があります。

重要事項

当資料は一般的な情報提供のみを目的としたものであり、個別の投資助言または証券の売買、保有、または投資戦略の採用に関する推奨や勧誘を行うものではありません。また法律上、税務上の助言を行うものではありません。当資料は、フランクリン・templtonの事前の書面による承諾なしの無断複写、転載、発行は禁じられています。

当資料のなかで示された見解ならびにコメント、意見、分析は、当資料作成時点のものであり、事前通知なしに変更される可能性があります。当資料で示された予想および見解は市場やその他の状況により変更される可能性があります、他の運用者や運用会社による見解と異なる場合があります。当資料で提供された情報は、すべての国、地域、市場に関するすべての重大な事実に関する完全な分析を目的とするものではありません。経済、株式市場、債券市場または市場における経済トレンドについてのいかなる推測、予想、予測も実現する保証はありません。投資価値およびそれによって得られる収入は、上下する可能性があります。また投資家は投資した全額を払い戻すことができない場合があります。過去の運用実績は将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。すべての投資には、元本を割り込む可能性を含むリスクが伴います。

当資料に含まれる調査・分析に関する情報はフランクリン・templtonが自身のために入手したものであり、付随的な情報の提供のみを目的としています。当資料の作成には、第三者を情報源とするデータが使用されている可能性があります。フランクリン・templton（「FT」）は当該データに関して独立した照合、検証、監査は行っていません。いかなる情報もFTが信頼に足ると判断した情報元より取得していますが、その正確性を保証するものではありません。また、情報が不完全または要約されている場合や、事前通知なしに変更される可能性があります。当資料における個別銘柄についての見解は、いかなる証券の売買、保有に関する推奨を示したものでも解釈されるものでもありません。また、個別銘柄に関する情報は投資判断のために十分とされるものでもありません。FTは、本情報の利用によって生じたいかなる損失に対しても一切、責任を負いません。当資料のコメント、意見、分析に対する依拠については、利用者ご自身でご判断ください。

金融商品、サービス、情報はすべての法域で入手可能とは限らず、米国以外では、他のFT関連会社および/またはその販売会社によって、現地の法律および規則が許容する範囲において提供されます。個別の法域における金融商品およびサービスの提供に関する詳細な情報については、ご自身の金融専門家またはフランクリン・templtonの機関投資家向け窓口にご相談ください。

CFA®およびChartered Financial Analyst®は、CFA Instituteが所有する商標です。

当資料に記載された見解および意見は、必ずしもブローカー/ディーラーまたはその関連会社のもを反映しているわけではありません。また、本資料において議論または示唆されている内容は、ブローカー/ディーラーの方針、手続、規則、またはガイドラインを上書き、または回避することを認めるものではありません。

【当資料に関するご注意】

- 当資料は、フランクリン・templton（フランクリン・リソースズ・インクとその傘下の関連会社を含みます。以下「FT」）が作成した説明資料を、フランクリン・templton・ジャパン株式会社が翻訳したものです。
- 当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、特定の金融商品等の推奨や勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は、FTが信頼性が高いと判断した各種データ等に基づいて作成したものです。その完全性、正確性を保証するものではありません。
- 当資料のデータ、運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。また、当資料に記載される見解は作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 当資料に指数・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権、その他一切の権利は、その発行者に帰属します。
- 当資料はFTの許可なく複製・転用することはできません。

フランクリン・templton・ジャパン

商号：フランクリン・templton・ジャパン株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第417号
加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

